

がん化学療法指示書

登録番号 377

作成日 2023/3/22

レジメン名	PEM+デュルバルマブ療法 (維持療法)
診療科・対象疾患	(呼)切除不能な進行・再発の 非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	4週毎
投与サイクル数	PDIになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
イミフィンジ	デュルバルマブ	1500mg/body	Day1
ペムトレキセド	ペムトレキセド	500mg/m ²	Day1

治療内容	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール				
							day1	day28
							Rp1		生理食塩液	100mL	任意
Rp2	癌	イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500mg/body	60分	点滴静脈メイン	●					
		生理食塩液	250mL								
Rp3		生理食塩液	50mL	15分	経過観察用	●					
Rp4		生理食塩液	100mL	15分	点滴静脈メイン	●					
		デキサート注(6.6mg)	1瓶								
Rp5	癌	ペムトレキセド	500mg/m ²	10分	点滴静脈メイン	●					
		生理食塩液	100mL								
		総量100mLにする									
内服											
その他必要薬剤	<ul style="list-style-type: none"> デカドロン(デキサメタゾン)4mg:2錠分1 朝食後に内服(day2,3) 葉酸:1日1回0.5mg(パンビタン末1g)を初回治療の7日前から服用し、最終治療21日後まで連日服用 ビタミンB12:1mg(メチコパール500μg 2A)を初回治療1週間前および以降は9週間毎に筋肉注射、その後アリムタ(ペムトレキセド)最終投与日から22日目まで9週毎に筋注 										
総投与時間	1時間45分										
血管外漏出リスク	ペムトレキセド:非壊死性抗がん剤 イミフィンジ(デュルバルマブ):非壊死性抗がん剤										
投与時の注意事項	ペムトレキセドはNSAIDsとの併用注意(ペムトレキセドの血中濃度が増加し副作用が増強される可能性がある) イミフィンジ(デュルバルマブ)はフィルター付きルート要										
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、イミフィンジ(デュルバルマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠 維持療法2回目投与時のみイジユド(トレメリムマブ)も投与。										